

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1228号	氏名	中野 治郎
論文審査担当者		主査教授	佐藤 伸一
		副査教授	下川 功
		副査教授	小路 武彦
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、筋線維基底膜を構成するラミニンが、多発性筋炎/皮膚筋炎の病因自己抗原の一つであるという仮説を立て、それを検証しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>Wistar 系雌ラットにラミニンを免疫し、ラミニンに対する自己抗体をウェスタンブロット法で評価し、筋の炎症については組織学的検討を行い、さらには浸潤細胞などを免疫組織学的に解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、ラミニンで免疫したラットでは、抗ラミニン抗体が検出され、筋組織へのT細胞浸潤、壊死線維が認められ、ラミニンが筋炎を引き起こす病因自己抗原となっていることを明らかにし、今後の自己免疫性筋炎の病因解明への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は自己免疫性筋炎における、分子レベルの発症機序の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			